

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	令和3年6月2日 午後7時00分から8時30分まで
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	小川委員、佐藤委員、清水委員、菅沼委員、瀧澤委員、竹内委員、立木委員、深井委員、宮崎委員、宮島委員、向山委員、湯田委員、依田委員
5 市側出席者	【危機管理防災課】星野危機管理防災担当係長、大林危機管理防災担当係長 【事務局】小山西部地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年6月10日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

西部地域の地域課題について

防災問題について協議

危機管理防災課から説明

以下、質疑応答

(委員)説明に出てきた図上訓練についてのやり方等、指導をお願いできるか。

(危機管理防災課)当課にて相談に応じている。避難所運営ゲーム(HUG)など図上でできる訓練については、県等で開催している出前講座を活用している例も多い。避難所運営ゲーム(HUG)については、県の自主防災アドバイザーの中に講師として活躍している方もいる。

(委員)ワクチン接種が始まり、国からも前倒しで行うようにと言われている中で、災害が発生した場合市の職員は対応できるのか。ワクチン接種に人員を割いたときに災害が起きた場合の想定はしているのか。

(危機管理防災課)ワクチン接種の担当部局とは、いわゆるゲリラ災害のようなものは除く形になるが、台風のようなものに関してはある程度前からどういう状況になってくるか見えてくることから、ワクチン接種の中止や、万が一の場合は避難所としての使用を優先することなどの話し合いはしている。

(委員)令和元年台風19号の時も各自治会に避難所開設の連絡が来たが、それ以後の連絡が朝までなく、また市へ電話を掛けても回線がパンクして繋がらない。感染症の問題等何もない時でさえそういう状態であった。それが今度はワクチン接種で土日も働いていて休みも取れないとなると、市の職員の健康を考えなければならない。疲弊して動けないような状態で災害にどう対応するのか、是非そういうことを考えてほしい。

(危機管理防災課) ワクチン接種については動向が読めない。その時々担当部局と話し合い、最善の方法を取るようになっていきたい。

(会長) 説明を聞いていて、自助・共助・公助の部分での提案を少しずつ分けてやっていくのかなとイメージしていた。特に公助の部分で一番大きなところは避難の関係、自助・共助の部分はどのように声を掛けていくのか、避難する時どうするのかといった話になる。それぞれ分けて提案していくような形になればよいのではないかと。そのためにワークショップ形式で意見を出し合いながら、提言に向けてまとめていく作業を行わなくてはならない。

(副会長) 自主防災アドバイザーがいるということなので、是非話を聞いてみたい。自主防災組織リーダー研修会でも、今日のような話はされたのか。

(危機管理防災課) 自主防災組織リーダー研修会では、主にテキストに沿って自主防災活動全般について説明した。消防団からも現状含めて話をさせていただき、また自主防災アドバイザーにもそれぞれの観点から自主防災活動について話をさせていただいた。

(会長) 市内でも特色ある取組みがいろいろあり、そういう情報は全部危機管理防災課で把握していると思うが、それを PDF でホームページにあげることにはできないか。先進事例があると自治会長も非常に助かるのではないかと。持っている情報を公開し、地元の人に見てもらおうとよい。

(危機管理防災課) これまではホームページではなく、自主防災組織リーダー研修会や出前講座、上田市防災展の中で事例紹介してきた。ホームページへの掲載についてどういう形でできるか考えていきたい。

(会長) 7月に開設予定のポータルサイトの中で、自治会や取り組んだ団体から情報提供してもらい掲載することもできるのではないかと。インターネットがこれだけ普及してきており、テレワークも増えているため、もう少し活用してほしい。

先程の防災展も2日間で100人の来場とのことだったが、人口比から考えると少人数である。防災展の様子を動画で撮って画像で残しておけば、後々も閲覧することができる。物理的なその場所でやるというだけでなく、インターネットでも見られるようにしたらいいのではないかと。

(危機管理防災課) これまで情報発信のツールとしての使用が不十分だった面もあり、どういう形でできるか検討したい。

(会長) アパート住民への対応について、自治会の情報は自治会の方からもらうが、回覧板は回って来ないと聞く。広報うえだはアパートの家主を通じて配布されているようだが、昨年8月に配布された広報うえだの情報(我が家の防災計画)を、どれだけの方が見ているか心配である。

アパート住民に対する情報発信はどのような形でできるのか。恐らく自治会からも遠くて、市の情報も自分から取りにいかないと貰えないという状態である。そこはどうなっているか。

(危機管理防災課)アパートに特化した対応はこれまで意識してこなかった。どういう状況下に置かれているかにもよるが、インターネットの方がその人にとっては便利ということもあり得る。情報の発信という部分ではインターネットを上手く使いながら取り組めるように考えていきたい。

(会長)情報発信を災害の起きる前から終わったところまでをどのように行うか課題がある。自分が西部公民館に避難した時にケーブルテレビが放送されていたが、ずっと落ちた橋の映像が流れていただけで、地元で何が起きているか全然分からなかった。同様に避難してきていた消防団第八分団に所属するご家族からの情報で状況が少し伝わってきた程度である。情報の発信をどのようにやっていけば安心安全を見出せるか。的確に、もっと分かりやすく伝わりやすくするためには何がよいのか。

(危機管理防災課)一昨年の台風災害にかかる各種アンケートによると、ケーブルテレビから地域の情報を得たという回答が多かった。市では、自主防災組織による防災用資器材の購入経費に対する補助事業を設けているが、台風災害を受けて、ケーブルテレビを視聴できる環境を整備するために必要な経費を補助対象品目に加えた。現在、情報発信に関するツールが多種多様にあり、何を選択すれば地域住民に有効な手段になるのか判断が難しい。課題として引き続き考えていきたい。また、平時からの情報の発信も足りない部分があると考えていることから、可能なところから順次改善していきたい。

(会長)ハザードマップの管理方法の話になるが、自助の部分で、どのように保存するとよいというのがあればよい。しまい込んでしまって、いざという時に見られない状態になってしまっている。

(危機管理防災課)自主防災組織リーダー研修会の時に県の自主防災アドバイザーから、ハザードマップの左上に穴を開けて、紐で目に見える範囲に掛けておけばよいとのアドバイスがあったので参考としてほしい。

(会長)防災に関する検定みたいなものがあったとしてもよいのではないか。ゲーム形式にして、優勝者には防災バッグをプレゼントするのはどうか。そういうものがあると、チャレンジしようとする人が出てきて、覚えることもできる。市では持っていない視点で提言できればよい。地域協議会として大事なことである。

4 その他

(事務局)次回の日程が7月19日となっている。この日は地域協議会のあり方についての協議の予定があるため、会長から話のあったワークショップについて、6月中に追加で協議会を開催する必要があるのか確認したい。

(会長)6月21日から30日くらいまでの間で1回開催して、提言に向けた項目立てをしたい。
次回6月後半の日程については事務局と相談し、お知らせする。

今後の予定：令和3年6月未定 午後7時から
令和3年7月19日(月) 午後7時から

5 閉会